

を代表して一言祝辭を述べらる。組合會議の歴史は淺いが日本労働俱樂部の設立以來労働組合の健全なる發展を目標に加盟各団体の融和提携に努めてゐる。即ち各組合の主張は夫々異るところありとするも労働者の福利を増進せん」とするに變ることはないのである。

資本主義の「矛盾より起つた非常時は資本主義維持の爲でなく労働階級を救ふ非常時たらしめねばならぬ。健全なる労働組合主義の旗の下に目的の貫徹に邁進せよ。

7、代議員歓迎の辭

杉山 善一

8、答辭

宮崎 太郎

9、一般報告

伊藤 卯四郎

(別冊報告書に依りて説明)

一言附加することは、反動的な政治運動の野心に少しも禍さ

れなかつたことを喜ぶ。吾等は殊更に日本主義、國家主義を高調する迄もないと思つてゐる。

協調會主催の勞資懇談會に依り事業主に對し吾が健全なる労働組合主義を認識せしめ、且つこの懇談會が將來産業上の重要問題を解決する機關となることを確信するものである。

労働組合法其他労働立法を完成せしむることが産業の平和發展を來す所以であることを強調する。之に對して資本家が反對ある場合は吾々労働階級は一齊に立ち上つて力と行動を以つて對抗するの用意と覺悟を有するものである。

10、會計報告

土田 保一 説明

(別冊會計報告参照)

11、議案採擇委員會報告

嶺 慶二 報告